

＜年間指導計画＞

学 期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	・朝のリレー	・通読、好きな表現の交流、特徴を生かした音読。	○		◎
	・野原はうたう	・音読、音読の工夫の話し合い、グループ発表。	○		◎
	・声を届ける書き留める言葉を調べる	・発表の仕方、ノートの取り方、辞書の使い方。	◎	○	○
	・シンシュン	・作品理解、語句漢字調べ、場面展開と心情理解、感想記入と交流。	○	◎	○
	・情報を的確に読み取る	・聞き取りメモ実践、効果的メモの理解、要点と5W1Hやキーワードの意識。	○	◎	
	・季節のしおり春	・桜にまつわる詩、短歌、俳句と言語文化の理解。	◎		○
	・情報整理レッスン	・情報の比較整理分類方法の確かめと学習。	◎		○
	・情報を整理して書こう わかりやすく説明する	・題材決め、情報整理、マッピング、構成、文章へのまとめ、作品交流。	○	◎	○
	・漢字の組み立てと部首	・部首理解、漢和辞典使用、課題作業。	○		◎
	・ダイコンは大きな根?	・段落の役割、構成と要旨、筆者の主張の把握。	○	◎	
	・ちょっと立ち止まって	・文章構成の理解と内容把握、要旨のまとめ。	○	◎	○
	・思考のレッスン 意見と根拠	・説得力のある根拠、意見と根拠の結びつきの理解。	○		
	・話の構成、スピーチ	・材料選択、構成の工夫、伝えたいことが届くスピーチ。魅力的なスピーチについて。	○	◎	○
	・漢字に親しもう	・練習問題。	◎		
	・文法 言葉のまとまり	・文、段落、文節、単語の理解。演習問題。	◎		○
	・情報を集め読み取り引用しよう	・情報の読み取りと引用、著作権、図書館利用。	○	◎	○
	・詩の世界	・音読、感想交流、詩作。	○	◎	○
	・比喩で広がる言葉の世界	・比喩の定義と効果の理解、文章の中心と付加の読み分け。	○	◎	○
	・言葉1指示語・接続語	・指示語と接続語の理解。	◎		○
	・言葉を集めよう	・国語辞典と類語辞典使用、紹介文、語彙を増やす。	○	○	○
2 学 期	・読書を楽しむ	・読書記録、ポップ作成、本の紹介。	○		○
	・本の中の中学生	・3編の作品内容把握、学校図書館利用、自分の考えの形成。	○	○	◎
	・季節のしおり 夏	・風にまつわる言葉、短歌・俳句の理解、他の夏の詩の鑑賞。	○		○
	・書写：道具・姿勢・字形	・筆記具や姿勢の基礎基本の理解、漢字の字形。	○		○
	・大人になれなかった弟たちに	・登場人物の心情把握、題名の意味、作者の意図。	○	◎	○
	・星の花が降るころに	・場面構成理解、情景と心情描写解釈、表現技巧。	○	◎	○
	・聞き上手になろう	・聞き方や質問の仕方の種類、絞る質問、広げる質問、ペア作業。		○	◎
	・項目を立て案内文を書こう	・身の回りの案内文、情報整理、項目の順序と表現。	○	◎	
	・推敲 読み手の立場	・読み手の立場に立った推敲、情報の確認。		◎	○
	・言葉 方言と共通語	・方言と共通語の理解、両言語の役割と特徴理解。	○		○
	・漢字の音訓	・音訓の歴史と性質の理解、漢和辞典の利用と問題。	○		◎
	・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・原因結果、意見と根拠、情報と情報の関係の理解。	◎	◎	
	・思考のレッスン2原因と結果	・話の筋道の理解、原因結果の捉え方の必要性確認。	◎		○

2 学 期	・資料を引用してレポートを書く ・漢字に親しむ ・話合いの展開を捉える ・グループディスカッション ・音読を楽しもう ・季節のしおり 秋 ・いろは歌 ・竹取物語 ・書く根拠を明確にして意見をまとめよう ・作品の書評を書く ・漢字に親しむ ・文法 言葉の関係 ・読書案内 君たちはどう生きるか ・季節のしおり 冬 ・書写 楷書の筆使い	・課題と調査、仮説と証明、データ選択、レポート作成。 ・既習漢字の理解と復習。 ・例文解釈と上達ポイント理解。 ・目的を明確にした話し合い、グループ活動、話し合い結果報告。 ・表現と事象や心情に留意した朗読。 ・月と秋の情景の伝統的言語文化の理解、語感磨き。 ・リズムの味わいと音読、今様の理解。 ・歴史的仮名遣い、現代文との違い、音読、内容把握。 ・要約、キーワード、根拠を明確にした文章。 ・作品の内容や魅力の分析、観点決めと書評作成。 ・新出漢字演習。 ・単語の類別、文節、連文節、文の組み立て理解。 ・読書感想文の書き方、文章を読みグループ発表。 ・雪や冬の情景の伝統的言語文化の理解。 ・毛筆練習、書き初め練習、楷書と行書の違い、ひらがな。	○	◎	○
3 学 期	・少年の日の思い出 ・漢字に親しもう ・文法 単語の性質 ・随筆2編 ・体験を基に随筆を書く ・さまざまな表現技巧 ・漢字の成り立ち ・一年間の学びを振り返ろう ・さくらの はなびら ・学習を振り返ろう - 読む、話す、聞く、書く ・書写 名文を書く、点画の変化	・語句の意味、作品展開の気づき、登場人物の心情変化の捉え。 ・新出漢字の確認。 ・単語の分類、品詞、体言と用言、自立語、付属語、活用の有無 ・表現の工夫、情感のある表現に着目、筆者の考えについての話し合い、体験の伝え合い。 ・情景や心情を表す言葉の適切な選択と使用。 ・比喩、反復、体言止め、倒置などの理解。 ・象形、指事、会意、形声の理解、漢和辞典使用。 ・集めた情報の整理、構成の工夫、フリップ作成、グループ内発表。 ・表現技法の理解、詩の内容把握、作者の思いのグループ討論。 ・言葉がもつ価値への気づき、事実と意見、中心と付加部分の理解、伝える話し方の工夫。 ・行書の基礎的な点画の書き方の理解。	○	◎	○

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気づこうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
30～40%	30～40%	30～40%

<令和4年度に関する特記事項>

- ・単元によって評価の割合は異なる。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	【地理】 ・世界の姿 ・日本の姿 ・人々の生活と環境 ・世界の諸地域	・地球をながめて	◎	◎	◎
		・世界の中での日本の位置、日本の領域	◎	◎	◎
		・世界のさまざまな生活と環境	◎	◎	◎
		・世界各地の衣食住とその変化	◎	◎	◎
		・アジア州の自然環境・農業・文化と経済発展	◎	◎	◎
	【歴史】 ・歴史の流れと時代区分 ・人類の登場から文明の発生へ ・東アジアの中の日本 ・中国にならった国家づくり	・年代の表し方と時代区分	◎	◎	◎
		・人類がたどった進化	◎	◎	◎
		・世界の古代文明や宗教のおこり	◎	◎	◎
		・縄文から弥生への変化	◎	◎	◎
		・鉄から見えるヤマト王権	◎	◎	◎
		・ヤマト王権と仏教伝来	◎	◎	◎
		・律令国家を目指して、律令国家での暮らし	◎	◎	◎
		・大陸の影響を受けた天平文化	◎	◎	◎
2 学期	【地理】 ・世界の諸地域	・中国、韓国、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア	◎	◎	◎
		・ヨーロッパ州の自然環境文化の共通性と多様性	◎	◎	◎
		・EUの成り立ちとその影響、ロシア連邦	◎	◎	◎
		・アフリカ州の自然環境・歴史と文化・経済	◎	◎	◎
		・北アメリカ州の自然環境・多様な民族構成・農業・工業	◎	◎	◎
		・南アメリカ州の自然環境	◎	◎	◎
	【歴史】 ・展開する天皇・貴族の政治 ・武士の世の始まり ・武家政権の内と外	・権力を握った貴族たち、摂関政治	◎	◎	◎
		・唐風から国風へ変わる文化	◎	◎	◎
		・武士団の発生、朝廷と結びつく武士	◎	◎	◎
		・鎌倉幕府の成立、鎌倉文化	◎	◎	◎
		・海を越えて迫る元軍	◎	◎	◎
3 学期	【地理】 ・世界の諸地域 ・身近な地域調査	・南アメリカ州の多様な民族と文化・農業・工業	◎	◎	◎
		・オセアニア州の自然環境・移民の歴史と多文化社会・産業	◎	◎	◎
		・地域調査の方法、地形図の読み取り	◎	◎	◎
		・南北朝の内乱と室町幕府	◎	◎	◎
	【歴史】 ・人々の結びつきが強まる社会 ・大航海によって結びつく世界	・東アジアの交易と倭寇	◎	◎	◎
		・技術の発達と様々な職業、団結する民衆	◎	◎	◎
		・全国に広がる下剋上	◎	◎	◎
		・庶民に広がる室町文化	◎	◎	◎
		・鎌倉・室町文化	◎	◎	◎
		・ヨーロッパの変革（ルネサンス・宗教改革）	◎	◎	◎
		・大航海時代の幕開け	◎	◎	◎
		・東アジアの貿易と南蛮人	◎	◎	◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 ・わが国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様な情報を効果的に調べまとめている。 ・人々の生活はその生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 【歴史】 ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに注目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 【歴史】 ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 ・日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。 ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【歴史】 ・歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
35%	35%	30%

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・生徒の興味関心を引く実物教材や写真資料、新聞資料等を活用するとともに、授業プリントを工夫し、必要な情報を的確に処理し、定着できるように授業作りを行う。
- ・単元終了時に確認テストを行い、基本的知識の定着を図る。
- ・学んだ知識を基にグループ学習や発表学習等も取り入れ、思考力や表現力の向上に努める。

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	0. 算数から数学へ	・ 整数の性質（自然数，素因数分解）	◎	◎	◎
	・ 整数の性質				
	1. 正負の数	・ 符号の付いた数，数の大小	◎	◎	◎
	・ 正負の数				
	・ 加法と減法	・ 加法，加法の交換法則と結合法則，減法，加法と減法の混じった計算	◎	◎	◎
	・ 乗法と除法	・ 乗法，除法，四則の混じった計算，数の範囲と四則	◎	◎	◎
	・ 正負の数の利用	・ 正負の数の利用（平均の求め方を工夫する）	◎	◎	◎
	2. 文字と式				
	・ 文字を使った式	・ 文字の使用，文字を使った式の表し方，代入と式の値	◎	◎	◎
	・ 文字式の計算	・ 1 次式の計算（項と係数，1 次式の加法・減法，1 次式と数の乗法・除法，1 次式のいろいろな計算）	◎	◎	◎
2 学期	・ 文字式の利用	・ 数量の間の関係の表し方（等式，不等式）	◎	◎	◎
	3. 方程式				
	・ 方程式とその解き方	・ 方程式とその解，方程式の解き方，いろいろな方程式	◎	◎	◎
	・ 1 次方程式の利用	・ 1 次方程式の利用，比例式の利用	◎	◎	◎
	4. 比例と反比例				
	・ 関数と比例と反比例	・ 関数，比例と反比例	◎	◎	◎
	・ 比例の性質と調べ方	・ 比例の表と式，比例のグラフ，比例の表・式・グラフ	◎	◎	◎
	・ 反比例の性質と調べ方	・ 反比例の表と式，反比例のグラフ，反比例の表・式・グラフ	◎	◎	◎
	・ 比例と反比例の利用	・ 比例と反比例の利用	◎	◎	◎
	5. 平面図形				
	・ 図形の移動	・ 図形の移動（平行移動，回転移動，対称移動）	◎	◎	◎
	・ 基本の作図	・ 作図のしかた，基本の作図，いろいろな作図	◎	◎	◎
	・ おうぎ形	・ おうぎ形（おうぎ形の中心角，弧の長さ，面積）	◎	◎	◎

3 学 期	6. 空間図形				
	・いろいろな立体	・いろいろな立体（多面体，角錐，角柱，円錐，円柱）	◎	◎	◎
	・立体の見方と調べ方	・直線や平面の位置関係，面の動き，立体の展開図，立体の投影図	◎	◎	◎
	・立体の体積と表面積	・体積，表面積，球の体積と表面積	◎	◎	◎
	7. データの分析と活用				
	・データの整理と分析	・データの分布の見方，特徴の表し方	◎	◎	◎
	・データの活用	・データの活用	◎	◎	◎
	・ことがらの起こりやすさ	・起こりやすさの表し方	◎	◎	◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
40％程度	30％程度	30％程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・学習する単位によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・少人数教室など、授業を受ける教室に入る前と授業終了後には、必ず手洗い、消毒をする。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	単元1 生物の世界	① 生物の観察法	◎		○
	1章 身近な生物の観察	② 生物の分類	○	◎	○
	2章 植物のなかま	① 種子をつくる植物 i 花のつくり	◎	○	○
		ii めしべと果実のつくり	◎	○	○
		iii 葉や根のつくり	◎	○	○
		iv マツやイチョウのなかま	◎	○	○
		② 種子をつくらない植物	◎	○	○
		③ 植物の分類	○	◎	○
	探究活動	植物の分類を活用する	○	◎	◎
	3章 動物のなかま	① 動物の体のつくり	◎	○	○
2 学 期	単元2 物質のすがた	② 脊椎動物 i 脊椎動物の特徴	◎	○	○
	1章 いろいろな物質	ii 体のつくりと食物	◎	◎	◎
		③ 無脊椎動物	◎	○	○
		④ 動物の分類	○	◎	◎
	2章 気体の発生と性質	① 身のまわりの気体	◎	◎	○
		② 気体の集め方	◎	○	○
		③ 気体の性質	◎	◎	○
	3章 物質の状態変化	① 状態変化とは	◎		○
		② 状態変化と質量と体積	◎	◎	○
		③ 状態変化と粒子の運動	◎	○	○
2 学 期		④ 状態変化と温度 i 沸点・融点	◎		○
		ii グラフ化	◎	◎	○
		iii 分留		◎	○
	4章 水溶液	① 物質の溶解と粒子モデル	◎	◎	○
		② 溶解度と再結晶			
		i ろ過	◎		○
		ii 溶解度と溶解度曲線	◎	◎	○
		③ 濃度	◎	◎	○
	探究活動	課題解決		◎	◎
	単元3 身近な物理現象	① 光の進み方とものの見え方	○	◎	◎
2 学 期	1章 光の性質	② 光の反射の法則	◎	○	○
		③ 光の屈折と全反射	◎	○	○
		④ 凸レンズのはたらき	◎	◎	○
		⑤ 光と色	◎		○
		⑥ 探求活動		◎	◎
	2章 音の性質	① 音の発生と伝わり方	◎		○
		② 音の大きさや高さ	◎	◎	○

3 学 期	3 章 力のはたらき	① 力のはたらきと種類 ② 力の表し方 ③ 力の大きさとばねの伸び ④ 力のつり合い	◎ ◎ ◎ ◎	 ○ ◎ 	○ ○ ○ ○
	単元 4 大地の変化 1 章 火山	① 火山の活動 i 火山噴出物 ii 火山の形と噴火の様子のちがい ② マグマが固まった岩石 i 火山灰などに含まれる粒 ii マグマが固まってできた火成岩	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ○ ◎	○ ○ ○ ◎
	2 章 地震	① 地震の揺れの大きさ ② 地面の揺れの伝わり方と揺れ方の規則性 ③ 地震の災害 ④ 探究活動	◎ ◎ ○ ○	 ◎ ○ ◎	○ ○ ◎ ◎
	3 章 地層	① 地層のでき方 ② 地層の観察 ③ 堆積岩と化石	◎ ◎ ◎	 ◎ ◎	○ ○ ○
	4 章 大地の変動	① 火山や地震とプレート ② 地形の変化とプレートの動き ③ 自然の恵みと災害	◎ ◎ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
30～40%程度	30～40%程度	30～40%程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・学習する単元によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・ソーシャルディスタンスの観点から、対人での実験や観察の実施や密となる単元については実施の方法を工夫する。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	・Let's Be Friends	・気持ちをたずねる・好きなものをたずねる・行きたい国を伝え合う・数・誕生日・アルファベット・音とつづり	◎	◎	◎
	・U1 Here We Go!	・I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~. の表現を正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・国際郵便	・登場人物の自己紹介カードを完成させるために必要な情報を聞き取り、理解する。	◎	◎	◎
	・U2 Club Activities	・海外宛ての送り状の宛名や住所の書き方を理解する。	○		○
		・Are you ~? Do you ~? Can you. ~? の表現を正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
		・登場人物に合う部活動を知るために、その人物の好みや得意なことを聞き取り、適切に理解する。	◎	◎	◎
		・相手に合う部活動を診断するために、疑問文を適切に使って好きなことや得意なことをたずねる。	◎	◎	◎
	・U3 Enjoy the Summer	・What do you ~?、動詞の-ing 形、want to ~ の表現について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
		・登場人物の夏休みの過ごし方を知るために、インタビューから夏休みにしたいことを聞き取り、適切に理解する。	◎	◎	◎
	・世界の中学生	・友達の夏休みについて、適切な質問をしアンケートを取る。	◎	◎	◎
2 学 期	・am, are / 一般動詞 / can	・How many ~? や How do you ~? の構文について正確に理解し、やり取りから、情報を正確に聞き取る。	○	○	○
	・自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	・am, are や一般動詞や can を使って自分と相手のことを伝える言い方を正確に理解している。	○		
		・プロフィールから、それぞれの出身地、誕生日、趣味、好きなことなどの情報を正確に読み取り、自分のことについても、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。	◎	◎	◎
	・U4 Our New Friend	・3 人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? の構文について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
		・人物の紹介を知るために、会話から人物の基本情報を聞き取り、適切にメモを取る。	◎	◎	◎
		・友達がよく知る人物について、基本的な情報を適切に紹介し、Who's this? クイズを出題する。	◎	◎	◎
	・U5 This Is Our School	・where や when の疑問文や命令文を正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
		・学校公開の日程や注意事項を知るために、案内状から必要な情報を読み取り、適切に理解する。	◎	◎	◎
	・落とし物	・whose で始まる疑問文や「~のもの」という言い方について正確に理解し、落とし物の持ち主を探すやり取りをする。	○	○	○
	・代名詞	・人称代名詞や指示代名詞の使い方を正確に理解している。	○		
	・U6 Cheer Up, Tina	・3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文を正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
		・誰の紹介か知るために、紹介文を読み、内容を適切に理解する。	◎	◎	◎
		・クラスの友達に紹介するために、適切な組み立てと表現で自分の身近な人を紹介する文を書く。	◎	◎	◎
	・is / 3 人称単数現在形	・主語が 3 人称単数のときの be 動詞と一般動詞の使い方を正確に理解する。	○		
	・カフェ	・Can I ~?, Which ~ or ~?, How much ~? という言い方について正確に理解し、飲食店で注文するやり取りをする。	○	○	○
	・世界の時刻	・What time is it? の使い方を理解し、正確な時刻を聞き取る。	○	○	○
		・時差があることについて考え、外国の文化への理解を深める。	○		○
	・疑問詞	・疑問詞を使った疑問文とその答え方を正確に理解している。	○		

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	情景を思い浮かべて	・歌唱（「校歌」「主人は冷たい土の中に」「エーデルワイス」「浜辺の歌」他）	◎	◎	○
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう	・音符や記号について ・鑑賞（「春 第1楽章」）	○	◎	◎
2 学 期	パートの役割を感じ取って合唱しよう	・歌唱（「カリブ夢の旅」他）	◎	◎	○
	創作をしよう	・リズム創作	◎	○	◎
	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう	・鑑賞（「魔王」）	○	◎	◎
	日本の楽器に親しもう	・鑑賞（箏曲「六段の調」） ・器楽（三味線）	○ ◎	◎ ○	◎ ○
3 学 期	日本の楽器に親しもう	・鑑賞（雅楽）	○	◎	◎
	曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう	・歌唱（「大地讃頌」他）	◎	○	○

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくとする。
3 4 %程度	3 3 %程度	3 3 %程度

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・学習する単位によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・感染症予防の観点から、歌唱指導等、実施の方法を工夫する。

＜年間指導計画＞

学期	題材名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	「色彩の学習」 ・ 色彩のしくみ	・ 色相環づくり ・ 色のしくみを学ぶ	◎		◎
	「鑑賞」 ・ イメージを言葉で表現しよう	・ 色とタッチからイメージを感じ、豊かな言葉で表現する		◎	○
	「表現」 ・ イメージを色とタッチで表現しよう	・ イメージを表現する（自分の表現したいイメージを色とタッチを工夫し表現する）	◎	◎	○
	「レタリング」 ・ さまざまなレタリング 「字体」 ・ 名前のレタリング	・ 文字探し（レタリング文字の用途の理解） ・ レタリングの基本練習（レタリングの習得）	◎ ◎	◎ ◎	○ ○
	「鑑賞」 ・ 私のお気に入り作品	・ 美術館での作品鑑賞		◎	◎
2 学 期	「絵文字のデザイン」 （視覚伝達の工夫）	・ 文字のイメージを絵文字としてデザインする	◎	◎	○
	「木彫」 ・ 浮彫の基礎	・ レリーフを作る	◎	◎	○
3 学 期	「鉛筆デッサン」	・ 石膏を描く ・ 自分の手を描く	◎		○
	「アニメーション」	・ パラパラ漫画（アニメーションの原理を理解する） ・ パラパラ漫画を制作する	○	◎	○

＜評価の観点と割合＞

題材により、以下のように観点ごとに割合を変化させて評定を算出する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
30～40％程度	30～40％程度	30～40％程度

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・ 感染予防の観点から、向かい合っでの話し合いや密となる鑑賞などの題材については実施の方法を工夫する。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、共有の教具や机椅子などの扱いに配慮している。

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・球技 ネット型 ・水泳	・体ほぐしの運動、体の動きを高める運動 ・短距離走・リレー ・バレーボール ・クロール、平泳ぎ	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ◎ ○	◎ ◎ ◎ ◎
2 学期	・水泳 ・陸上競技 ・器械運動 ・球技 ベースボール型 ・球技 ゴール型	・クロール、平泳ぎ ・走り幅跳びまたは走り高跳び ・マット運動もしくは跳び箱運動 ・ソフトボール ・バスケットボールまたはハンドボール	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎
3 学期	・ダンス ・武道 ・球技 ゴール型	・創作ダンス、現代的なリズムのダンス ・相撲 ・サッカーまたはバスケットボール	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
通 年	・陸上競技 ・体育理論 ・保健	・持久走、長距離走 ・運動やスポーツの多様性 ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
40％程度	30％程度	30％程度

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・学習する単元によって、観点ごとの評価の割合が異なる。
- ・状況によって、単元を変更する可能性がある。

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	・技術分野のガイダンス			○	◎
	・D 情報に関する技術 情報の技術の原理・法則 と仕組み	・情報の技術とは ・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み ・安全に利用するための情報モラル ・安全に利用するための情報セキュリティ ・情報の技術の工夫の読み取り	◎ ○ ○ ◎ ○ ○	 ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎ ○ ○
	・A 材料と加工に関する技術 材料と加工の技術による 問題解決	・問題の発見，課題の設定 ・製作品の構想，設計 ・製図 ・製作の計画 ・作業手順を考えた製作 ・問題解決の評価，改善・修正	○ ○ ◎ ○ ○ ○	○ ○ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ◎ ○ ○ ○
2 学期	・A 材料と加工の技術 材料と加工の技術による 問題解決	・問題の発見，課題の設定 ・製作品の構想，設計 ・製図 ・製作の計画 ・作業手順を考えた製作 ・問題解決の評価，改善・修正	○ ○ ◎ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ○ ○ ◎ ○
3 学期	・A 材料と加工の技術 社会の発展と材料と加工の 技術	・材料と加工の技術の最適化 ・これからの材料と加工の技術	○ ○	○ ◎	○ ○

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
・材料に関する特徴を理解し、適した加工方法についての知識を身につけている。 ・コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組みについての知識を身に付けている。 ・切断，切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	・材料と加工に関する技術、情報に関する技術の課題を明確にし，社会的，環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに，適切な解決策を見いだしている。	・技術が人間の生活を向上させ，産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき，技術が果たしている役割に関心を示している。
40%	30%	30%

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	A家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭生活 B衣食住の生活【住生活】 住生活の自立 1. 住まいのはたらきとこちよさ ①住まいのはたらき ②住まいの空間 2. 安全な住まいで安全な暮らし ①家庭内事故への備え ②災害への備え 持続可能な住生活をめざして	+0学校家庭科の学習をふり返り、3学年間の学習内容の見直しをもつ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。 ・住まいの基本的な役割について理解する。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・住まいの空間の使い方について理解する。 ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。 ・家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ・地域の様々な災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 ・持続可能な社会の実現に向けて、様々な住まいと住まいの工夫があることを知る。	○	◎	◎
			◎	◎	○
			◎	○	◎
2 学期	B衣食住の生活【衣生活】 1. 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管 持続可能な衣生活をめざして	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。 ・既製服を選ぶポイントがわかる。 ・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ・衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。 ・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。	◎	◎	○
			◎	○	◎
3 学期	3. 生活を豊かにするものの製作	・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	◎	○	◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と稼働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
40%程度	30%程度	30%程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・ソーシャルディスタンスの観点から、被服実習などの密となる単元については、実施の方法を工夫する。